

| 教科名       | 芸術  | 科目名                                    | 書道Ⅱ  |
|-----------|---|--|--|
| 対象        | 登校・オンライン  | 年次                                     | 3  |
| 添削指導回数    | 6   | 面接指導時数                                 | 8  |
| 単位数       | 2   | 備考                                     |  |
| 教科書・補助教材等 | 書道Ⅱ（東京書籍）   |  |  |
| 学習の目的     | 書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。 |  |  |
| 学期        | 月   | 学習内容                                   | 学習のねらい・目標  |
| 前期        | 4   | 漢字仮名交じりの書①                             | 書道Ⅰで学習した中国と日本の代表的な古典（楷書・行書）を鑑賞し、特徴を確認する。それぞれの古典の漢字に調和する仮名の表現を考える。漢字と仮名を調和させて、漢字仮名交じりの書を書く。 |
|           | 5   | 漢字仮名交じりの書①                             | 仮名の名筆を二種取り上げて鑑賞し、特徴を確認する。それぞれの名筆に調和する漢字の表現を考える。仮名と漢字を調和させて、漢字仮名交じりの書を書く。                   |
|           | 6   | 漢字の書                                   | 書道Ⅰでの行書の学習を踏まえて、より個性的で多様な行書の表現を鑑賞し、理解を深める。   |
|           | 7   | 漢字の書                                   | 書道Ⅰでの草書の学習を思い出しながら、草書の成立について、書風の変遷と特徴の両面から理解を深める。  |
|           | 8   |  |  |
| 9         | 漢字の書  | 書道Ⅰでの隷書の学習を思い出しながら、隷書の特徴や用筆について理解を深める。 |  |

| 学期            | 月   | 学習内容  | 学習のねらい・目標   |
|---------------|---|---|---|
| 後期            | 10  | 漢字の書<br>篆刻と刻字                                   | 書道Ⅰでの篆書の学習を踏まえて、より個性的で多様な篆書の表現を鑑賞し、理解を深める。<br>篆刻の歴史や押印・発表の方法などを理解する。  |
|               | 11  | 篆刻と刻字   | 創作の手順に従い、刻字作品を制作する。   |
|               | 12  | 仮名の書  | 書道Ⅰの学習を踏まえて、日本独自の仮名の美を鑑賞し、日本の伝統文化を理解する。   |
|               | 1   | 仮名の書  | 書道Ⅰの学習を踏まえて、行書きの基本的技法を理解する。   |
|               | 2   | 仮名の書  | 創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作する。  |
|               | 3   | 漢字仮名交じりの書②                                      | 漢字仮名交じりで書かれた名筆・古典を鑑賞し、漢字と仮名の調和について理解する。<br>名筆・古典の鑑賞を通して磨いた感性を生かし、漢字仮名交じりの書を書く。<br>書道Ⅰでは未習の仮名の古典の特徴を確認し、調和する漢字を考える。<br>仮名と漢字を調和させて、漢字仮名交じりの書を書く。 |
| 学習上の留意点       |   | さまざまな用具・用材を実際に手に取って使用してみる。<br>墨の色や紙の種類についても考える。 |   |
| 評価の観点         |   |   | 評価方法  |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。                                   |   | レポート<br>授業<br>作品提出  |
| 思考・判断・表現      | 書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。  |   |   |
| 知識・技能         | 創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。<br>文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |   |   |

RITA 学園高等学校